

■急行～特急あさぎりの車両



メトロはこね運用での 60000 形 MSE

60000 形 (MSE)

概要

2008年3月に、地下鉄千代田線乗り入れ可能な特急車両として登場。現在では小田急線から地下鉄千代田線、JR 御殿場線と縦横無尽に駆け抜け、観光から通勤輸送まで、なんでもござれの、走・攻・守全てそろった万能選手。

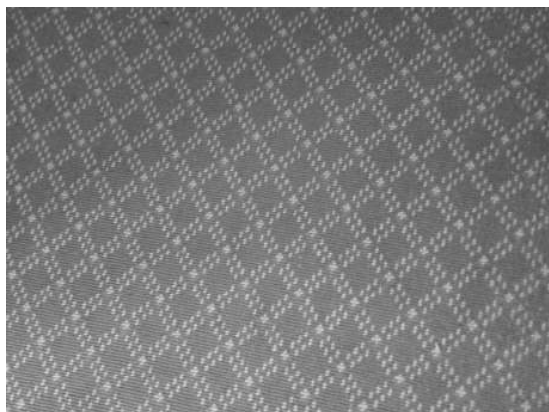
そのため Multi Super Express を略して MSE と呼ばれています。

2007年9月に落成し、翌10月に海老名検車区で行われたイベント、ファミリー鉄道展で初お披露目されました。

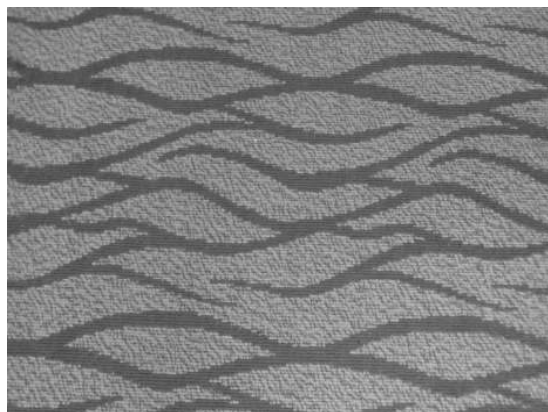
50000形VSEに引き続き、岡部憲明氏がデザインを担当しており、車体はフェルメール・ブルーというメタリックな光沢のある水色を基本に、ロマンスカー伝統のパーミリアンオレンジの帯を引いており、地下鉄線内でも映える色使いです。

先代の特急車両30000形EXEと同じく小田原・御殿場方の6両編成と新宿方の4両編成に分割可能で、やはりEXEと同じく10両編成時に中間に入る先頭車と、両端に来る先頭車で2種類の顔を持っており、両端に来る先頭車は、50000形VSE車にも似た流線型のデザインで、地下鉄線内での運転に必要な、貫通扉を設置しています。

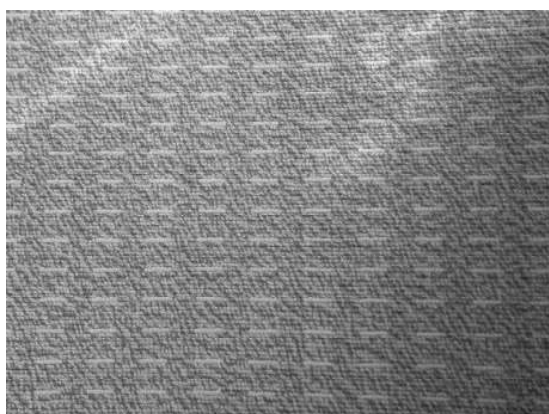
コラム 20000 形カーペットのあれこれ



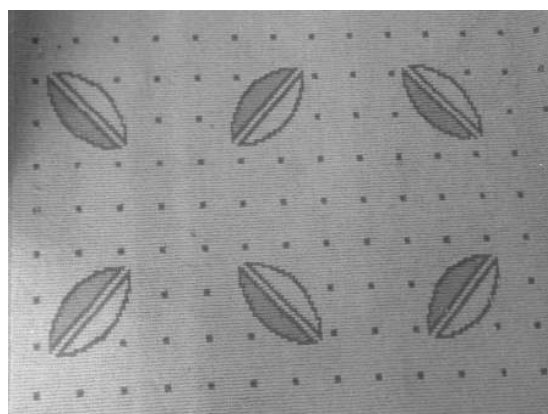
5～7号車は都会がテーマ



1.2号車と3号車1階は海がテーマ



3.4号車2階も都会がテーマ



4号車は山・樹木がテーマ

20000形RSEでは、各ブロックにインテリアのテーマがあり、各ブロックによりカーペットのテーマが異なっていました。

まず、新宿方5・6・7号車については、都会をイメージで灰色を主体とした幾何学模様のカーペットが、沼津方の1・2号車と、3号車1階の普通車は伊豆の海をイメージしており青主体の波模様のカーペットが敷かれていました。

そして、3・4号車2階のグリーン車も都会をイメージしているとのことなのですが、

普通車とは違ったイメージのカーペットが使われています。

また、一転して4号車1階のセミコンパートメントには、山・樹木がイメージされており、緑色の葉っぱをイメージしたと思わしきカーペットが敷かれており、各ブロックでの車内の印象が異なっていました。

20002Fについては、富士急行へ譲渡されたわけですが、このようなカーペットも交換されるのか、それとも新たな柄のものが敷かれるのか気になるところです。

■松田界隈のいろいろ



小田急小田原線との分岐点。右へ行くのが松田短絡線

松田短絡線

特急あさぎりを語る面で忘れてはいけない松田短絡線は、小田急線新松田駅の新宿方から御殿場線松田駅を結ぶ数百メートルの路線で、普段は特急あさぎりでのみ使用されています。

位置的には、新松田駅の新宿方、県立足柄上病院の辺りより、住宅街を上り勾配とグネグネと急カーブを右に曲がり松田駅一番北側の1番線があさぎり号専用のホームに滑り込む路線なのですが、制限速度がきついで、非常にゆっくり走ります。

付近は松田の商業地と住宅街。

御殿場行き基準で右側の山の上にある特徴ある建物は、松田山ハーブガーデン。ちなみに、行くのには登山しなければならないので、



御殿場線と同じ高さになる